

第190回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人 口 | | | 世 帯 | | |
|---------------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 世 帯 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 中 心 部 | 9,637 | -0.37 | -0.02 | 4,093 | 0.93 | 0.02 |
| 東 部 地 区 | 14,380 | 0.03 | -0.11 | 5,714 | -0.01 | -0.24 |
| 西 部 地 区 | 10,592 | -0.75 | -0.12 | 3,997 | -0.39 | -0.12 |
| 駅 南 地 区 | 6,278 | 0.19 | -0.03 | 2,698 | 1.39 | 0.07 |
| 半 田 地 区 | 3,610 | -0.35 | -0.19 | 1,365 | 0.44 | 0.00 |
| 横 山 地 区 | 5,663 | 0.01 | -0.22 | 1,898 | 1.06 | -0.41 |
| 茨 目 ・ 田 尻 地 区 | 6,991 | 0.21 | 0.14 | 2,378 | 1.32 | 0.29 |
| 荒 浜 地 区 | 5,034 | -0.80 | -0.09 | 2,010 | -0.39 | -0.19 |
| そ の 他 地 区 | 20,226 | -1.54 | -0.11 | 7,167 | 0.16 | -0.11 |
| 西 山 町 地 区 | 6,223 | -0.32 | 0.06 | 2,148 | 1.12 | 0.13 |
| 高 柳 町 地 区 | 1,813 | -4.02 | -0.05 | 819 | -2.50 | -0.12 |
| 柏 崎 市 計 | 90,447 | -0.60 | -0.07 | 34,287 | 0.35 | -0.07 |
| 刈 羽 村 | 4,844 | -0.75 | -0.24 | 1,566 | 0.57 | -0.25 |
| 小 国 地 区（長岡市） | 6,128 | -2.07 | -0.09 | 2,110 | -0.33 | -0.04 |
| 出 雲 崎 町 | 5,055 | -1.13 | -0.11 | 1,806 | 0.16 | 0.11 |
| 合 計 | 106,474 | -0.72 | -0.08 | 39,769 | 0.32 | -0.07 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で551人、0.60％、刈羽村で37人、0.75％、小国地区（長岡市）で130人、2.07％、出雲崎町で58人、1.13％とそれぞれ減少し、全体では776人、0.72％の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で68人0.07％、刈羽村で12人、0.24％、小国地区で6人、0.09％、出雲崎町で6人、0.11％減少したため、全体では92人、0.08％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で7世帯、0.33％減少したが、柏崎市で122世帯、0.35％、刈羽村で9世帯、0.57％、出雲崎町で3世帯、0.16％増加したことから、全体では127世帯、0.32％の増加となった。また、前月比においては、出雲崎町で2世帯、0.11％増加したが、柏崎市で27世帯、0.07％、刈羽村で4世帯、0.25％、小国地区で1世帯、0.04％減少した結果、全体では30世帯、0.07％減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前 月 比 | |
|-----------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 柏 崎 | 県 | 柏 崎 | 県 |
| 月 間 有 効 求 人 | 1,373 | | 21.28 | | 9.48 | |
| 月 間 有 効 求 職 者 | 1,957 | | -3.64 | | 2.94 | |
| 月 間 有 効 求 人 倍 率 | 0.70 | 0.78 | 0.14* | 0.10* | 0.04* | 0.06* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,373人と前年同月比で241人、21.28％の増加となり、前月比でも119人、9.48％増加している。

月間有効求職者数は、1,957人と前年同月比で74人、3.64％減少し、前月比では56人、2.94％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.70倍と前年同月比で0.14ポイント上回り、前月比では0.04ポイント上回っている。なお、県平均0.78倍と比べると0.08ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が618人と前年同月比で51人、8.99％の増加、月間新規求職者数が627人と前年同月比で28人、4.30％減少した結果、月間新規求人倍率は0.99倍となり、前年同月の0.87倍に比べて0.12ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成23年度累計 | |
|-------------|-----------|-------|-------|----------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅（併用） | 26 | 17 | 5 | 313 | 97 |
| 共 同 住 宅 | 3 | 3 | -2 | 32 | 27 |
| 事 務 所 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| 作 業 所・工 場 | 1 | 1 | 0 | 15 | 5 |
| 営 業 建 物 | 0 | -1 | -2 | 18 | 6 |
| 公 共 建 物 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| そ の 他 | 1 | -2 | -2 | 68 | -3 |
| 合 計 | 31 | 18 | -1 | 451 | 132 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況については、平成23年3月までは市受付分のみの集計でしたが、平成23年4月からは民間確認検査機関の受付件数を含む集計を掲載しております。なお、対前年同月比は平成24年3月分までは市受付分との対比となっております。当月の申請合計は31件と前年同月比で18件増加したが、前月比では1件の減少となっている。なお、工種全体の申請内容は、新築が31件となっており、また一般住宅（併用）26件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が13件（うち新築13件）、市外施工業者が13件（うち新築13件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 65,599 | 0.59 | -0.11 | 29,774 | -1.14 | 33.17 |
| 電 力 | 10,651 | -2.66 | -0.15 | 40,316 | -1.80 | 5.29 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で386口、0.59%増加したが、前月比では、76口、0.11%減少している。一方、電力においては、前年同月比で292口、2.66%減少し、前月比でも17口、0.15%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で346kwh、1.14%減少したが、前月比では、7,417kwh、33.17%増加している。一方、電力においては、前年同月比で742kwh、1.80%減少、前月比では、2,026kwh、5.29%の増加となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|-------|-----------|--------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,811,251 | 2.06 | 41.38 | 689,170 | 0.15 | 4.26 |
| 営 業 用 | 348,141 | -4.67 | 34.99 | 107,326 | -10.28 | -0.70 |
| 工 場 用 | 878,409 | -3.46 | 10.05 | 129,125 | -4.40 | 0.43 |
| 官 公 学 校 用 | 757,134 | -4.15 | 37.49 | 75,864 | -6.77 | 6.61 |
| そ の 他 | | | | 100 | 233.33 | 233.33 |
| 合 計 | 3,794,935 | -1.16 | 31.41 | 1,001,585 | -2.20 | 3.38 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で44,787m³、1.16%減少したが、前月比では907,126m³、31.41%と大幅な増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用を除くすべての用途で減少しており、前月比では、すべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で22,602m³、2.20%の減少となり、前月比では32,751m³、3.38%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比で、家庭用、その他で増加しているが前月比では営業用を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|-------|--------|---------|-------|--------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 77,607 | 6.02 | -7.18 | 77,207 | 2.18 | -10.91 |
| 西 山 | 33,836 | 5.81 | -7.02 | 30,115 | 4.08 | -8.50 |
| 米 山 | 13,775 | 14.70 | -13.78 | 12,845 | 11.89 | -15.83 |
| 合 計 | 125,218 | 6.85 | -7.91 | 120,167 | 3.62 | -10.88 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で8,038台、6.85%増加しており、前月比では10,770台、7.91%減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で4,199台、3.62%増加したが、前月比では14,675台、10.88%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では、入口・出口ともにすべてのインターで増加したが、前月比では、入口・出口ともにすべてのインターで減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 353,328 | -1.12 | -1.87 | 148,474 | 0.18 | -1.27 |
| 平 残 | 356,660 | -0.26 | -0.17 | 148,067 | -0.09 | 0.19 |

預金は、末残が前年同月比で4,028百万円、1.12%減少し、前月比でも、6,763百万円、1.87%減少している。また、平残においても、前年同月比で931百万円、0.26%減少し、前月比で634百万円、0.17%減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で267百万円、0.18%の増加となったが、前月比では1,919百万円、1.27%減少している。平残においては、前年同月比で134百万円、0.09%減少したが、前月比では、289百万円、0.19%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|----------|----------|
| 交 換 枚 数 | 30,673 | -5.14 | 10.62 |
| 交 換 金 額 | 26,845 | 2.20 | 57.40 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 68 | 580.00 | 385.71 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 143 | 1,999.95 | 1,159.01 |

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で1,664枚、5.14%減少したが、前月比では2,946枚、10.62%増加している。また、交換金額においては前年同月比で580百万円、2.20%増加しており、前月比では9,790百万円、57.40%の増加となっている。なお、不渡手形は68枚、143百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産8件（前年同月4件、前月2件）、負債総額96億円（同15億円、同46億円）となっている。地区別では、新潟市が3件、新発田市が1件、佐渡市が1件、西蒲原郡が1件、南蒲原郡が1件、妙高市が1件、発生している。業種別は、製造業が5件、建設業1件、小売業1件、サービス業1件、となっており、倒産原因は、販売不振が5件、経営計画の失敗が3件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で4件の増加となり、負債総額は15億円の増加となっている。前月比では件数は6件増加し、負債総額は50億円と大幅に増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が2件発生している。

県内経済は、持ち直しの動きが続いているものの、弱い動きも見られ依然として厳しい状況にある。円高やデフレ等による企業の先行きへの不安がうかがわれ、欧米をはじめとする海外の経済情勢に留意する必要がある。